

# UDLM

今月号は、過去の一級建築士試験問題から  
これまでの日本における都市の課題の読み解きを試みます。

# 6

vol.334

June 30th  
2023

試験からみる都市

p.1-5 一級建築士試験問題から  
都市の課題の歴史を探る  
p.6-8 研究室旅行を、知る。

△ MIYASHITA PARK と代々木体育館と明治神宮内苑

# 一級建築士試験問題から都市の課題の歴史を探る

## 一級建築士試験の概要

1950年	建築士法制定 一級建築士試験が始まる
1951年	都市計画に関する問題が初めて出題される
1968年	学科・製図試験がそれぞれ1次試験と2次試験に分離
2009年	計画が計画と環境2科目に分離

学科 (1次試験)					2次試験
計画 20問	環境 20問	法規 30問	構造 30問	施工 25問	設計製図

今月号は、一級建築士学科試験問題の都市に関連する問題を題材に、過去に出題されたものから当時何が都市において課題として捉えられていたかを探ってみたい。試験の出題者は、受験者が一級建築士になるにあたり必要な知識や思考力を問う。当時の問題を見てみることでその時に関心が寄せられていた都市の課題を窺うことができないだろうか。

一級建築士の制度は1950年の建築士法制定に伴い誕生し、以降50年以上、年に一回試験が行われている。試験は学科試験と製図試験に分かれ(1968年以降)、学科試験は計画、環境・設備、法規、構造、施工の5科目から成る。都市関連の問題は計画の中で毎年数問出ることが多く、今回は都市計画やまちづくり、住宅団地など建物単体でないものについての問題に着目している。

過去問で出た事柄に関連する事象

1950年

1951年  
公営住宅法

1954年  
土地区画整理法

1955年  
住宅公団法

1956年  
都市公園法

1958年  
千里ニュータウン着工  
(大阪府)

1960年

1960年  
K.リンチ  
「都市のイメージ」

1961年  
丹下健三  
「東京計画1960」

1961年  
J.ジェイコブス  
「アメリカ大都市の死と生」

1961年  
草加松原団地着工  
(埼玉県)

1963年  
ブキャナンレポート

1963年  
新住宅市街地開発法

1966年  
高蔵寺ニュータウン事業着工  
(愛知県)

1967年  
公害対策基本法

1967年  
ニコレットモジュール

1968年  
新都市計画法

1969年  
都市再開発法

1970年

1970年  
総合設計制度

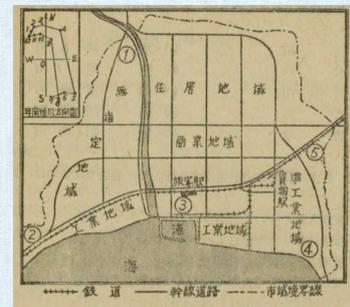
注目した過去問

\\解答はp.4へ! /

## 1951 都市の骨格をなすインフラ施設の配置

問. 次図は人口20万の都市の略図である。次の(イ)(ロ)(ハ)(ニ)の公共施設の配置として最も適当なものを、図中の1~5のうちからそれぞれ一つずつ選び、答案用紙の□の中にその番号を記入せよ。

- (イ) . 卸売市場
- (ロ) . 屠場
- (ハ) . 污水处理施設
- (ニ) . 塵芥焼却場



<参考文献1より引用>

この年、初めて一級建築士試験で都市計画分野の問題が出題された。人口20万人都市の公共施設の配置計画に関する問題であり、このような配置計画の出題がなされたのはこの問題が最初で最後である。また、どの選択肢の施設も近年の試験問題では見かけることはない。戦後復興都市計画期の真っ只中であり、都市の骨格となる施設を作っていく時代性を感じることができる。

## 1955 郊外住宅地の計画

問. 大都市の郊外に中層(3~4階建)及び低層(1~2階建)の混合した近隣住区(小学校1、中学校1、児童公園4を含む)を計画する場合全地域に対する計画人口密度(人/ha)で、妥当なのは、次のうちどれか。

1. 900~800人/ha
2. 700~600人/ha
3. 500~400人/ha
4. 300~200人/ha
5. 100~50人/ha

<参考文献1より引用>

この時代は、戦後復興、市街地拡大期にあたり、戦後直後の日本では、約420万戸の住宅が不足している。この時期、住宅不足の問題は都市の最重要課題であったといえる。一級建築士試験問題でも、1951年に上記の問題が出て以降、住宅地・住宅団地の計画、住宅政策などに関する問題がほぼ毎年出題されている。この1955年でも、近隣住区の計画に関する問題が出題されている。

▼表 1950年~1993年に試験された問題

年	出題された問題	年	出題された問題	年	出題された問題
1950	該当なし	1966	該当なし	1980	地区計画
1951	公共施設の配置計画 一団地住宅	1967	都市計画立案の要件 都市の中心地区の再開発	1981	新しい都市の計画(近隣住区) 都市の理論、提案者
1952	住宅問題	1969	市街地で高層建築物の建設を考慮した再開発	1982	都市計画
1953	住宅地の選定 一団地住宅	1970	ニュータウン計画 地方中心都市の駅前地区の再開発計画	1983	都市計画 街づくり
1954	住宅政策	1971	都市の再開発計画	1984	街並みの形成 都市の再開発
1955	近隣住区の計画人口密度	1972	都市郊外の住宅団地計画	1985	都市の成長
1956	該当なし	1973	住宅団地の計画	1986	集合住宅団地計画 同業者
1957	都市の住宅の高度化	1974	団地の計画	1987	人名と都市計画 ニュータウン計画
1958	住宅政策の目的 団地に必要施設	1975	都市計画における住宅団地の計画(必要施設) 住宅団地計画	1988	住宅団地計画 住宅・都市の水準
1959	住宅地の人口密度	1976	地区計画 住宅団地の計画	1989	該当なし
1960	該当なし	1977	近隣住区を形成する住宅団地 都市	1990	分譲住宅団地計画
1961	該当なし	1978	住宅団地の計画	1991	都市計画
1962	該当なし	1979	新しい都市の計画(近隣住区)	1992	都市計画に関する理論のモデル又は計画案と提唱者
1963	該当なし	1980	都市の再開発の目的	1993	住宅団地における近隣住区

1972年  
ブルーイット・アイゴ解体  
(アメリカ)

1973年  
都市緑地保全法

1974年  
生産緑地法

1975年  
伝統的建造物群保存地区

1977年  
C.アレグザンダー  
「パタン・ランゲージ」

1978年  
レム・コールハース  
「錯乱のニューヨーク」

1980年

1980年  
地区計画制度

## 1982 不足する都市公園

問. 都市計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか

1. 都市の計画的な拡大ではなく無秩序に市街地が広がる現象は、スプロール現象と呼ばれる。
2. 都市の交通計画においては一般に、通過交通、都市間交通、都市内交通の3種の交通を配慮する必要がある。
3. 都市計画においては、土地利用計画や施設利用計画ばかりではなく、環境計画的な配慮も必要である。
4. 我が国の都市公園の水準は近年向上しつつあり、全国の都市計画区域で1人当たり10㎡に達している。
5. 都市の再開発は、既成市街地の都市機能の更新をはかることを1つの目的としている。

<参考文献6より引用>

この時期の都市公園の整備水準は約4㎡/人である。この頃は高度経済成長の裏で、**生活環境の悪化や公害問題が発生していた**。1972年に都市公園等整備緊急措置法が制定され、都市公園の整備が促進され、**1985年までに整備水準10㎡/人以上が目標とされた**。この問題はその3年前に出題されており、当時の都市の課題の一端を窺える。

また、都市公園の整備水準に関する問題は1987年、1997年にも引き続き出題されており、長期間解決していない課題として考えられる。**現在の東京23区の1人あたり公園面積は約4.4㎡/人で、ストックホルムの80㎡/人や、パリの11.6㎡/人と大きく離れた数字となっている。**



## 1988 住宅団地の人口構成

問. 住宅団地計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 団地の人口構成の極端な偏りを避けるうえで、多様な住宅規模や異なる供給方式の住宅を混在させることは有効である。
2. 団地の公共施設計画においては、団地の人口構成の特徴やその経年変化について考慮する必要がある。
3. 団地の規模が大きくなるほど、1住戸当たりの公共施設等の用地所要面積は小さくなる。
4. 団地の各住棟において、述べ面積に対する住戸専用面積の割合は、1住戸の面積規模やアクセス方式によっても左右される。
5. 団地の駐車場の規模を決定する際には、団地の所在地や公共交通サービスの状況ばかりでなく、入居対象者の階層なども考慮すべきである。

<参考文献7より引用>

最初の住宅地計画の問題がでた1955年(日本住宅公団ができた年)から約30年が経過している。これまで1955年の問題に見られるような**住宅地の計画基準値などが問われることが多く見られたが、初めて1や2の選択肢にあるような人口構成の混在や経年変化に触れられている**。同じ時期に一気に作られる住宅団地の問題点が顕在化してきた頃だったのだろうか？

1990年

1889年  
黒壁スクエア  
(滋賀県)

1992年  
コモンシティ星田  
(大阪府)

1993年  
真鶴町まちづくり条例  
(神奈川県)

1995年  
パティオス4番街  
(千葉県)

1995年  
阪神淡路大震災  
1995年  
地方分権法

1998年  
まちづくり三法

## 1995 震災からの復興へ

問. 関東大震災(1923年)に関する記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 後藤新平を総裁とする帝都復興院が設立され、帝都復興事業として、全罹災地を買収した後に、区画整理及び公共施設の整備を実施した。
2. 市街地建築物法に基づく規定が改正され、耐震設計における水平方向の地震力の規定が新設された。
3. 同潤会が設立され、当初は応急住宅を建設し、その後、耐震耐火の庶民住宅の供給を行った。
4. 東京市立小学校の2/3程度が消失したので、復興小学校として、設計規格に基づき、鉄筋コンクリート造の校舎が建設された。
5. 明治時代以降、都市部での建築が盛んに行われたれんが造や石造の建築物も、大きな被害を受けた。

<参考文献9より引用>

1995年に阪神淡路大震災が発生し、その直後にこの問題が出題されている。これまで防災関連の問題は選択肢の中で稀に延焼遮断帯などの都市防火の話が出る程度であった。ここで初めて後藤新平の名前が出てくるなど、**復興に大きな関心が向けられていることが窺える**。

2000年

4

2002年  
都市再生特別措置法2004年  
クリエイティブシティ横浜  
(神奈川県)2005年  
清溪川再生事業  
(韓国)2009年  
ハイライン  
(アメリカ)2011年  
東日本大震災2014年  
立地適正化計画2014年  
虎ノ門ヒルズ  
(東京都)

2010年

2020年

2011 中央集権から地方分権へ

問. まちづくりの制度に関する記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 地方自治体が都市計画の案を作成する際には、必要に応じて、住民の意見を反映させるために公聴会等を開催する。
2. 地方自治体が作成した都市計画の案に対する住民の意見は、案の縦覧期間後に意見書を提出することにより、都市計画審議会において検討される。
3. 地方自治体が定めるまちづくり条例において、近年では、住民発議の計画を実現化する仕組みを設ける自治体が増えている。
4. 法律に基づかない任意のルールであるまちづくり協定やまちづくりガイドラインは、一般に、地域の独自性を反映させやすい。

&lt;参考文献14より引用&gt;

地方自治体によるまちづくりに関する問題が出題されたのはこの年が初めてである。都市計画の地方分権は、1968年都市計画法によって一部地方に権限が移譲したのち、1995年の地方分権推進法によって大きく推進する。この2011年にも一部の計画決定権限が地方自治体に移譲されている。1968年に都市計画決定権限は都道府県：市町村が8:2と言われていたが、現在ではその反対になっていると言われている。なお、地方自治体によるまちづくりに関する出題はこれ以降ない。また、協定に関しては、2009年にも緑地協定や景観協定に関する問題が出題されているが、この年以降出題されていない。

2014 都市再生時代

問. まちづくりの制度等に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 都市再生特別措置法による都市再生特別地区は、都市の再生に貢献し、土地の合理的かつ健全な高度利用を図る特別の用途、容積、高さ、配列等の建築物の建築を誘導する必要があると認められる区域について、都市計画に定めることができるものであり、建築物等の誘導すべき用途、建築物の容積率の最高限度及び最低限度、建築物の建蔽率の最高限度等を定める地区である。
2. 高度地区は、都市計画法に基づく地域地区の一つであり、用途地域内において市街地の環境を維持し、又は土地利用の増進を図るため、建築物の高さの最高限度又は最低限度を定める地区である。
3. 市街地再開発事業は、市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新とを図るために、都市計画法及び都市再開発法で定めるところに従って行われる建築物及び建築敷地の整備並びに公共施設の整備等を行う事業である。
4. 総合設計制度は、敷地規模が大きく、敷地内に広場等の公開空地を有し、建築物の形態も良好な建築計画について、都市計画法に基づき、容積率及び形態の制限を緩和し、市街地環境の整備改善を促進する制度である。

&lt;参考文献14より引用&gt;

都市計画制度についての問題は古くから出題されており、高度地区や市街地再開発事業、総合設計制度などは何度も登場している。一方、都市再生特別措置法についての出題はこの年が初めてであり、これ以降都市再生についての問題が何度も出題されている。虎ノ門の立体道路制度を活用した事例や、道後温泉などが都市再生の事例として登場している。

おわりに

資格試験でも、過去に出題されてきた問題を深掘りしてみると何か発見があるのではないだろうかと思いつき今月号の企画を実施した。一級建築士試験は1950年に始まり、70年も経つと出題されている問題も全く異なっているもので、時代を感じる問題も多かった。1951年に最初に問題された都市計画の問題は、卸売市場、屠場、汚水処理施設、塵芥焼却場の配置計画の問題だった。現代では屠場や塵芥焼却場が主たる都市問題の話題の中に出てくることはまずないだろう。都市の最初の問題の一つが公衆衛生問題であったことを想起させる。

もちろん、必ずしも時代背景を鑑みた問題が出題されるわけでもない。例えば、阪神淡路大震災の直後に関連した問題が出題されているが、東日本大震災の直後には都市の問題で震災に関連する出題はなかった。

一級建築士の過去の試験問題から全ての都市問題の歴史を把握することはできないが、少なくともそこから時代性を感じることはできた。一級建築士に限らず、試験の過去問を探ることで新たな発見があるかもしれない。

過去出題された事例・理論のワードクラウドイング▶

ブキャナンレポート ウルビーノ都市基本計画 岡山県倉敷市  
 カンビドリオ広場 ヴェルヴィン ニコレットモール  
 グラン・プロジェクト ボツダム広場再開発計画  
 グループハウス尾崎 帝都復興事業 ウェン環状道路  
 広場の造形 工業都市 千里ニュータウン メルボルン  
 北九州市Mポート 千里ニュータウン ハーロウニュータウン 小布施町  
 港北ニュータウン ハーロウニュータウン 小布施町  
 高松市 輝く都市 コモンシティ (星田A2)  
 ハイライン 都市のイメージ 富山市 江戸  
 タリアセン 都市の文化 フォルスタ  
 都市の文化 みんなの家 デッサウ  
 ローマ (明日の) 田園都市 ハリ 建築書  
 クリチバ 東京計画1960 キャンベラリア 平東京  
 アメリカ大都市の死と生 ブラジリア  
 ラスベガス エキスパート リッチワース  
 ミレトス コンパクトシティ 進化する都市  
 川越一徹街 パリ改造計画 パタン・ランゲージ  
 札幌市 高蔵寺ニュータウン NEXT21 ボルゴグラード  
 横浜市 チャンディガール くまもとアートポリス  
 幕張ベイタウンパティオス4番街 メガロポリス  
 ワシントンD.C. 300万人のための現代都市 プールヴァール  
 クリエイティブシティ・ヨコハマ ジオデシックドーム

1-2 1-3 1-4 1-5 1-6 1-7 1-8 1-9 1-10 1-11 1-12 1-13 1-14 1-15 1-16 1-17 1-18 1-19 1-20 1-21 1-22 1-23 1-24 1-25 1-26 1-27 1-28 1-29 1-30 1-31 1-32 1-33 1-34 1-35 1-36 1-37 1-38 1-39 1-40 1-41 1-42 1-43 1-44 1-45 1-46 1-47 1-48 1-49 1-50 1-51 1-52 1-53 1-54 1-55 1-56 1-57 1-58 1-59 1-60 1-61 1-62 1-63 1-64 1-65 1-66 1-67 1-68 1-69 1-70 1-71 1-72 1-73 1-74 1-75 1-76 1-77 1-78 1-79 1-80 1-81 1-82 1-83 1-84 1-85 1-86 1-87 1-88 1-89 1-90 1-91 1-92 1-93 1-94 1-95 1-96 1-97 1-98 1-99 1-100 1-101 1-102 1-103 1-104 1-105 1-106 1-107 1-108 1-109 1-110 1-111 1-112 1-113 1-114 1-115 1-116 1-117 1-118 1-119 1-120 1-121 1-122 1-123 1-124 1-125 1-126 1-127 1-128 1-129 1-130 1-131 1-132 1-133 1-134 1-135 1-136 1-137 1-138 1-139 1-140 1-141 1-142 1-143 1-144 1-145 1-146 1-147 1-148 1-149 1-150 1-151 1-152 1-153 1-154 1-155 1-156 1-157 1-158 1-159 1-160 1-161 1-162 1-163 1-164 1-165 1-166 1-167 1-168 1-169 1-170 1-171 1-172 1-173 1-174 1-175 1-176 1-177 1-178 1-179 1-180 1-181 1-182 1-183 1-184 1-185 1-186 1-187 1-188 1-189 1-190 1-191 1-192 1-193 1-194 1-195 1-196 1-197 1-198 1-199 1-200 1-201 1-202 1-203 1-204 1-205 1-206 1-207 1-208 1-209 1-210 1-211 1-212 1-213 1-214 1-215 1-216 1-217 1-218 1-219 1-220 1-221 1-222 1-223 1-224 1-225 1-226 1-227 1-228 1-229 1-230 1-231 1-232 1-233 1-234 1-235 1-236 1-237 1-238 1-239 1-240 1-241 1-242 1-243 1-244 1-245 1-246 1-247 1-248 1-249 1-250 1-251 1-252 1-253 1-254 1-255 1-256 1-257 1-258 1-259 1-260 1-261 1-262 1-263 1-264 1-265 1-266 1-267 1-268 1-269 1-270 1-271 1-272 1-273 1-274 1-275 1-276 1-277 1-278 1-279 1-280 1-281 1-282 1-283 1-284 1-285 1-286 1-287 1-288 1-289 1-290 1-291 1-292 1-293 1-294 1-295 1-296 1-297 1-298 1-299 1-300 1-301 1-302 1-303 1-304 1-305 1-306 1-307 1-308 1-309 1-310 1-311 1-312 1-313 1-314 1-315 1-316 1-317 1-318 1-319 1-320 1-321 1-322 1-323 1-324 1-325 1-326 1-327 1-328 1-329 1-330 1-331 1-332 1-333 1-334 1-335 1-336 1-337 1-338 1-339 1-340 1-341 1-342 1-343 1-344 1-345 1-346 1-347 1-348 1-349 1-350 1-351 1-352 1-353 1-354 1-355 1-356 1-357 1-358 1-359 1-360 1-361 1-362 1-363 1-364 1-365 1-366 1-367 1-368 1-369 1-370 1-371 1-372 1-373 1-374 1-375 1-376 1-377 1-378 1-379 1-380 1-381 1-382 1-383 1-384 1-385 1-386 1-387 1-388 1-389 1-390 1-391 1-392 1-393 1-394 1-395 1-396 1-397 1-398 1-399 1-400 1-401 1-402 1-403 1-404 1-405 1-406 1-407 1-408 1-409 1-410 1-411 1-412 1-413 1-414 1-415 1-416 1-417 1-418 1-419 1-420 1-421 1-422 1-423 1-424 1-425 1-426 1-427 1-428 1-429 1-430 1-431 1-432 1-433 1-434 1-435 1-436 1-437 1-438 1-439 1-440 1-441 1-442 1-443 1-444 1-445 1-446 1-447 1-448 1-449 1-450 1-451 1-452 1-453 1-454 1-455 1-456 1-457 1-458 1-459 1-460 1-461 1-462 1-463 1-464 1-465 1-466 1-467 1-468 1-469 1-470 1-471 1-472 1-473 1-474 1-475 1-476 1-477 1-478 1-479 1-480 1-481 1-482 1-483 1-484 1-485 1-486 1-487 1-488 1-489 1-490 1-491 1-492 1-493 1-494 1-495 1-496 1-497 1-498 1-499 1-500 1-501 1-502 1-503 1-504 1-505 1-506 1-507 1-508 1-509 1-510 1-511 1-512 1-513 1-514 1-515 1-516 1-517 1-518 1-519 1-520 1-521 1-522 1-523 1-524 1-525 1-526 1-527 1-528 1-529 1-530 1-531 1-532 1-533 1-534 1-535 1-536 1-537 1-538 1-539 1-540 1-541 1-542 1-543 1-544 1-545 1-546 1-547 1-548 1-549 1-550 1-551 1-552 1-553 1-554 1-555 1-556 1-557 1-558 1-559 1-560 1-561 1-562 1-563 1-564 1-565 1-566 1-567 1-568 1-569 1-570 1-571 1-572 1-573 1-574 1-575 1-576 1-577 1-578 1-579 1-580 1-581 1-582 1-583 1-584 1-585 1-586 1-587 1-588 1-589 1-590 1-591 1-592 1-593 1-594 1-595 1-596 1-597 1-598 1-599 1-600 1-601 1-602 1-603 1-604 1-605 1-606 1-607 1-608 1-609 1-610 1-611 1-612 1-613 1-614 1-615 1-616 1-617 1-618 1-619 1-620 1-621 1-622 1-623 1-624 1-625 1-626 1-627 1-628 1-629 1-630 1-631 1-632 1-633 1-634 1-635 1-636 1-637 1-638 1-639 1-640 1-641 1-642 1-643 1-644 1-645 1-646 1-647 1-648 1-649 1-650 1-651 1-652 1-653 1-654 1-655 1-656 1-657 1-658 1-659 1-660 1-661 1-662 1-663 1-664 1-665 1-666 1-667 1-668 1-669 1-670 1-671 1-672 1-673 1-674 1-675 1-676 1-677 1-678 1-679 1-680 1-681 1-682 1-683 1-684 1-685 1-686 1-687 1-688 1-689 1-690 1-691 1-692 1-693 1-694 1-695 1-696 1-697 1-698 1-699 1-700 1-701 1-702 1-703 1-704 1-705 1-706 1-707 1-708 1-709 1-710 1-711 1-712 1-713 1-714 1-715 1-716 1-717 1-718 1-719 1-720 1-721 1-722 1-723 1-724 1-725 1-726 1-727 1-728 1-729 1-730 1-731 1-732 1-733 1-734 1-735 1-736 1-737 1-738 1-739 1-740 1-741 1-742 1-743 1-744 1-745 1-746 1-747 1-748 1-749 1-750 1-751 1-752 1-753 1-754 1-755 1-756 1-757 1-758 1-759 1-760 1-761 1-762 1-763 1-764 1-765 1-766 1-767 1-768 1-769 1-770 1-771 1-772 1-773 1-774 1-775 1-776 1-777 1-778 1-779 1-780 1-781 1-782 1-783 1-784 1-785 1-786 1-787 1-788 1-789 1-790 1-791 1-792 1-793 1-794 1-795 1-796 1-797 1-798 1-799 1-800 1-801 1-802 1-803 1-804 1-805 1-806 1-807 1-808 1-809 1-810 1-811 1-812 1-813 1-814 1-815 1-816 1-817 1-818 1-819 1-820 1-821 1-822 1-823 1-824 1-825 1-826 1-827 1-828 1-829 1-830 1-831 1-832 1-833 1-834 1-835 1-836 1-837 1-838 1-839 1-840 1-841 1-842 1-843 1-844 1-845 1-846 1-847 1-848 1-849 1-850 1-851 1-852 1-853 1-854 1-855 1-856 1-857 1-858 1-859 1-860 1-861 1-862 1-863 1-864 1-865 1-866 1-867 1-868 1-869 1-870 1-871 1-872 1-873 1-874 1-875 1-876 1-877 1-878 1-879 1-880 1-881 1-882 1-883 1-884 1-885 1-886 1-887 1-888 1-889 1-890 1-891 1-892 1-893 1-894 1-895 1-896 1-897 1-898 1-899 1-900 1-901 1-902 1-903 1-904 1-905 1-906 1-907 1-908 1-909 1-910 1-911 1-912 1-913 1-914 1-915 1-916 1-917 1-918 1-919 1-920 1-921 1-922 1-923 1-924 1-925 1-926 1-927 1-928 1-929 1-930 1-931 1-932 1-933 1-934 1-935 1-936 1-937 1-938 1-939 1-940 1-941 1-942 1-943 1-944 1-945 1-946 1-947 1-948 1-949 1-950 1-951 1-952 1-953 1-954 1-955 1-956 1-957 1-958 1-959 1-960 1-961 1-962 1-963 1-964 1-965 1-966 1-967 1-968 1-969 1-970 1-971 1-972 1-973 1-974 1-975 1-976 1-977 1-978 1-979 1-980 1-981 1-982 1-983 1-984 1-985 1-986 1-987 1-988 1-989 1-990 1-991 1-992 1-993 1-994 1-995 1-996 1-997 1-998 1-999 1-1000 1-1001 1-1002 1-1003 1-1004 1-1005 1-1006 1-1007 1-1008 1-1009 1-1010 1-1011 1-1012 1-1013 1-1014 1-1015 1-1016 1-1017 1-1018 1-1019 1-1020 1-1021 1-1022 1-1023 1-1024 1-1025 1-1026 1-1027 1-1028 1-1029 1-1030 1-1031 1-1032 1-1033 1-1034 1-1035 1-1036 1-1037 1-1038 1-1039 1-1040 1-1041 1-1042 1-1043 1-1044 1-1045 1-1046 1-1047 1-1048 1-1049 1-1050 1-1051 1-1052 1-1053 1-1054 1-1055 1-1056 1-1057 1-1058 1-1059 1-1060 1-1061 1-1062 1-1063 1-1064 1-1065 1-1066 1-1067 1-1068 1-1069 1-1070 1-1071 1-1072 1-1073 1-1074 1-1075 1-1076 1-1077 1-1078 1-1079 1-1080 1-1081 1-1082 1-1083 1-1084 1-1085 1-1086 1-1087 1-1088 1-1089 1-1090 1-1091 1-1092 1-1093 1-1094 1-1095 1-1096 1-1097 1-1098 1-1099 1-1100 1-1101 1-1102 1-1103 1-1104 1-1105 1-1106 1-1107 1-1108 1-1109 1-1110 1-1111 1-1112 1-1113 1-1114 1-1115 1-1116 1-1117 1-1118 1-1119 1-1120 1-1121 1-1122 1-1123 1-1124 1-1125 1-1126 1-1127 1-1128 1-1129 1-1130 1-1131 1-1132 1-1133 1-1134 1-1135 1-1136 1-1137 1-1138 1-1139 1-1140 1-1141 1-1142 1-1143 1-1144 1-1145 1-1146 1-1147 1-1148 1-1149 1-1150 1-1151 1-1152 1-1153 1-1154 1-1155 1-1156 1-1157 1-1158 1-1159 1-1160 1-1161 1-1162 1-1163 1-1164 1-1165 1-1166 1-1167 1-1168 1-1169 1-1170 1-1171 1-1172 1-1173 1-1174 1-1175 1-1176 1-1177 1-1178 1-1179 1-1180 1-1181 1-1182 1-1183 1-1184 1-1185 1-1186 1-1187 1-1188 1-1189 1-1190 1-1191 1-1192 1-1193 1-1194 1-1195 1-1196 1-1197 1-1198 1-1199 1-1200 1-1201 1-1202 1-1203 1-1204 1-1205 1-1206 1-1207 1-1208 1-1209 1-1210 1-1211 1-1212 1-1213 1-1214 1-1215 1-1216 1-1217 1-1218 1-1219 1-1220 1-1221 1-1222 1-1223 1-1224 1-1225 1-1226 1-1227 1-1228 1-1229 1-1230 1-1231 1-1232 1-1233 1-1234 1-1235 1-1236 1-1237 1-1238 1-1239 1-1240 1-1241 1-1242 1-1243 1-1244 1-1245 1-1246 1-1247 1-1248 1-1249 1-1250 1-1251 1-1252 1-1253 1-1254 1-1255 1-1256 1-1257 1-1258 1-1259 1-1260 1-1261 1-1262 1-1263 1-1264 1-1265 1-1266 1-1267 1-1268 1-1269 1-1270 1-1271 1-1272 1-1273 1-1274 1-1275 1-1276 1-1277 1-1278 1-1279 1-1280 1-1281 1-1282 1-1283 1-1284 1-1285 1-1286 1-1287 1-1288 1-1289 1-1290 1-1291 1-1292 1-1293 1-1294 1-1295 1-1296 1-1297 1-1298 1-1299 1-1300 1-1301 1-1302 1-1303 1-1304 1-1305 1-1306 1-1307 1-1308 1-1309 1-1310 1-1311 1-1312 1-1313 1-1314 1-1315 1-1316 1-1317 1-1318 1-1319 1-1320 1-1321 1-1322 1-1323 1-1324 1-1325 1-1326 1-1327 1-1328 1-1329 1-1330 1-1331 1-1332 1-1333 1-1334 1-1335 1-1336 1-1337 1-1338 1-1339 1-1340 1-1341 1-1342 1-1343 1-1344 1-1345 1-1346 1-1347 1-1348 1-1349 1-1350 1-1351 1-1352 1-1353 1-1354 1-1355 1-1356 1-1357 1-1358 1-1359 1-1360 1-1361 1-1362 1-1363 1-1364 1-1365 1-1366 1-1367 1-1368 1-1369 1-1370 1-1371 1-1372 1-1373 1-1374 1-1375 1-1376 1-1377 1-1378 1-1379 1-1380 1-1381 1-1382 1-1383 1-1384 1-1385 1-1386 1-1387 1-1388 1-1389 1-1390 1-1391 1-1392 1-1393 1-1394 1-1395 1-1396 1-1397 1-1398 1-1399 1-1400 1-1401 1-1402 1-1403 1-1404 1-1405 1-1406 1-1407 1-1408 1-1409 1-1410 1-1411 1-1412 1-1413 1-1414 1-1415 1-1416 1-1417 1-1418 1-1419 1-1420 1-1421 1-1422 1-1423 1-1424 1-1425 1-1426 1-1427 1-1428 1-1429 1-1430 1-1431 1-1432 1-1433 1-1434 1-1435 1-1436 1-1437 1-1438 1-1439 1-1440 1-1441 1-1442 1-1443 1-1444 1-1445 1-1446 1-1447 1-1448 1-1449 1-1450 1-1451 1-1452 1-1453 1-1454 1-1455 1-1456 1-1457 1-1458 1-1459 1-1460 1-1461 1-1462 1-1463 1-1464 1-1465 1-1466 1-1467 1-1468 1-1469 1-1470 1-1471 1-1472 1-1473 1-1474 1-1475 1-1476 1-1477 1-1478 1-1479 1-1480 1-1481 1-1482 1-1483 1-1484 1-1485 1-1486 1-1487 1-1488 1-1489 1-1490 1-1491 1-1492 1-1493 1-1494 1-1495 1-1496 1-1497 1-1498 1-1499 1-1500 1-1501 1-1502 1-1503 1-1504 1-1505 1-1506 1-1507 1-1508 1-1509 1-1510 1-1511 1-1512 1-1513 1-1514 1-1515 1-1516 1-1517 1-1518 1-1519 1-1520 1-1521 1-1522 1-1523 1-1524 1-1525 1-1526 1-1527 1-1528 1-1529 1-1530 1-1531 1-1532 1-1533 1-153

付録：これまでに出版された都市関連の問題（※）とその選択肢のキーワード

Table with 5 columns: 年 (Year), 問題 (Question), 選択肢 (Options), 解答 (Answer), 解答のキーワード (Keywords). The table lists various urban planning and architecture exam questions from 1990 to 2022, including topics like urban structure, transportation, and housing.

※ここでは「都市計画」や「まちづくり」、「住宅地計画」など、建物主体に関わらないものを都市関連の問題とした。

参考文献

- 1. 「建築士試験科目別問題集 1993年版」 解読書房 1993
2. 「最近4年間の一級建築士試験問題と解き方 昭和43年版」 建築行政協会編
3. 「一級建築士試験問題と解説 昭和48年版 学科編」 建築行政協会編
4. 「一級建築士試験問題と解説 昭和52年版 学科編」 建設省住宅局建築指導課 監修
5. 「一級建築士試験問題と解説 昭和56年版 学科編」 建設省住宅局建築指導課 監修
6. 「一級建築士試験問題と解説 昭和60年版 学科編」 建設省住宅局建築指導課 監修
7. 「一級建築士試験問題と解説 学科編 平成5年版」 霞ヶ関出版社
8. 「一級建築士会連合会 日本建築技術者指導センター 編 霞ヶ関出版社, 1989.2
9. 「一級建築士会連合会、日本建築技術者指導センター 編 霞ヶ関出版社, 1993.1
10. 「一級建築士試験問題と解説 平成13年版」 国土交通省住宅局建築指導課 監修
11. 「一級建築士試験問題と解説 平成17年版」 国土交通省住宅局建築指導課 監修
12. 「一級建築士試験問題と解説 平成21年版」 霞ヶ関出版社, 2005.1
13. 「一級建築士試験問題と解説 平成21年版」 霞ヶ関出版社, 2005.1
14. 公益財団法人 建築技術教育普及センター 「学科の試験」
https://www.jaebc.or.jp/semph/siken/k/1k/1kmondai.html 2023.6.25 閲覧
15. 「都市計画の構造転換」 日本都市計画学会編著 鹿島出版会 2021
16. 「都市計画 第3版増補」 日笠端 日端康雄著 共立出版 2018
17. 「都市計画教科書 第三版」 都市計画教育研究会編 2013

# 研究室旅行を、知る。

新型コロナウイルスの流行が落ち着き、都市デザイン研究室も、対面の会議やコンパの開催などかつての活発な活動を取り戻しつつある。研究室旅行もそのひとつで、今年、2019年以来4年ぶりの開催が企画されている。しかし、4年間の断絶により研究室旅行を知るメンバーはかなり少なくなりました。研究室に所属するものとして、研究室旅行とは何たるか知る必要があるのではないか。そこで、過去のマガジンやホームページを遡り、過去12回の研究室旅行を振り返る。

## 研究室旅行タイムライン

1998

韓国  
ソウル

北沢先生が1997年に助教授に着任し、西村教授・北沢助教授からなる都市デザイン研究室の体制が開始したことをきっかけに始まった研究室旅行。初回は、本研究室で1997年に博士号を取得し、韓国の中央大学で教職に就いていた李政炯先生を訪れたという。ここから、**研究室留学生のOBOGを尋ねるという形が続くこととなった。**

2004

ベトナム  
ハノイ

ホストは、**ロアンさん(1999年修士、2002年博士)とチャンさん(1997年修士、2003年博士)**。道中のフェで水害に遭遇した学生がいた。その1人である黒瀬さんが経験をまとめたルポは、マガジン初代編集長の酒井さんに感銘を与えた。「ハノイ旅行で生々しい古都水害地突破ルポを書いたM2黒瀬に、『爆発的に充実している研究室に何かマガジンが創刊できないだろうか』と相談しました。」(マガジン創刊号)。このマガジンの創刊に、研究室旅行での強烈な体験が関係していたとは。

2000

台湾  
台北・新竹

この年は、**西村先生のつながりで、歴史まちづくりの同志である丘如華先生にホストになっていただいた。**台湾大学・台北市・新竹市役所・楽山文教基金会の方々にお世話になり、現地見学、議論、交流をした。事前に分担をしてかなり細かく事前調査を行い、旅行後にもレポートを作成した。

2006

タイ  
バンコク

「今年の3月、来日した研究室OGのニラモンさんと本郷三丁目駅近くの中華料理屋でビールを飲み交わしている際、不意に『10月に結婚するのよ』と聞かされて、その場の思いつきで『じゃあ、研究室旅行で皆でお祝いにいくよ』と約束してしまったのが、今回の研究室旅行の企画の始まりでした。」(マガジンvol.38) こんな思いつきで始まる研究室旅行もいいのかも。この旅行のメインイベントは**ニラモンさん(2006年博士、その後チュラロンコン大学)の結婚式、そしてホストはニラモンさんだった。**

2002

中国  
北京・上海

北京は**張天新先生(2001年博士号取得、北京大学)**、上海は**張松先生(1996年博士号取得、同済大学)**、に案内していただいたこの年。歴代の研究室旅行の中でもっとも離れた2都市を巡った年ではないだろうか。北京-上海間は飛行機で移動した。万里の長城などの有名観光地も外さずに訪れている(背表紙の写真参照)。

2008

マレーシア  
マラッカ・ポトラジャヤ他

ホストは**西村先生のもとで論文博士をとられたアイディッド先生(マレーシア工科大学)**。西村先生率いる研究室の旅行らしく、歴史都市マラッカを堪能。ただし、この年が珍しいのは、新首都・ポトラジャヤを訪れたこと。モダニズム建築がそびえたつ街並みにみな圧倒され、例年とはひと味違う研究室旅行となった。ちなみに、この年のマガジンでは、研究室旅行が予習編と復習編の2回で取り上げられている。予習編には、「はじめてのマレー語」コーナーもある。今年もぜひ、みんなで現地語の予習をしていきたい。

### 台北(台湾)の都市史・資料

【はじめに】  
台湾の歴史はごく簡単に言っても、先住民の時代→スペイン・オランダの占領(17世紀)→明の進駐・鄭氏政権→清の統治→(日清戦争後)日本統治→(日本の敗戦後)中華民国に復帰→国民政府の台湾移動・・・とめまぐるしく揺れ動いており、建築的にも同様に戦時体制、風土に由来する行住様式(アーケード)、近代洋風建築、と様々な要素が組み合わされている、という印象を持ちます。  
その一方で、台北は台湾都市の近代的骨格を、(良かれ悪しかれ)日本統治下にそのルーツを持っています。総督府の民主部門はつぎつぎとインフラの敷設を進め、都市計画・建築にも、市区改正の「台湾都市建築規則」(1900年)、1936年の「台湾都市計画令」と法を発し、近代的な都市整備をすすめていったという経緯があります。  
そうしてつくられた都市骨格も、日本はじめアジアの諸都市の例に倣わず、相当なスピードで更新が行われているようですが、面の要素を占める官庁建築(日本統治下の官庁の建築を指し、厳密にはその外も含む)や古い商店街は、「近代台北」の面影をいまだよく残しているといっています。また、またまた、市中心部(博爱路)や大龍峒その他の歴史的建築物(近代化遺産含め)の保存・活用にも努めているとのこと。  
今回は、現在の台北の骨格を形成した、近代・台北の都市計画・建築に注目して資料をリストにしてみました。

【日本文献】  
■比較的最近のもので、都市・建築史の骨格から、各々の台湾の原を参照したい。  
『アジアの都市と建築』加藤三郎(編) 鹿島出版会 1986  
『台湾建築』新アリア現代都市建築編 鹿島出版会、住居(監修) 大成建設 1996  
【論文(日本語)】  
■近年の『日本都市計画学会論文集』から数編をあげるにとどめる。(他に参照する)  
五事 1996 『台北の公園建築に関する歴史的研究』  
五事 1998 『官制建築・官制建築の歴史的研究』  
1912-1927 台北(1905-1925)の建築研究  
藤野 1998 『官制建築の歴史的研究』  
研究 = 1905年から1945年まで  
藤野 1997 『官制建築の歴史的研究』  
藤野 1992 『日本統治初期における台湾の市区改正に関する研究』  
一人名義として  
武沢 1991 『日本統治時代における台南都市骨格の歴史的研究』  
【資料目録】  
■これらは台北の歴史を構築したい人は必見。  
『臺灣都市建築史』臺灣都市建築史研究會(編) 1989  
中華民族都市計画学会・臺灣大學建築史研究所(編) 1989

【古地図の数々】(右の地図⇨)  
■これらは台北の都市の発展の軌跡を追うことができます。  
※この他にも数種の複製地図や写真集などがある。

【現地の文庫】  
■現地の文庫は書店で手に入るもの。  
『日治時代建築史(1905-1945)』(大地別冊5)  
藤野 1997 『大地別冊』 大地別冊 1999.12  
※学芸に詳しい方が中心。写真も豊富。(写真・右)  
『臺北都市建築史』(大地別冊) 大地別冊 2000.9  
※学芸に詳しい方が中心。  
『臺灣都市計画史』(都市計画史別冊1) (写真・左)  
藤野 1996 胡氏編輯出版 1992  
※胡氏編輯出版(1997)に発行された『臺灣都市計画史』の中国語訳  
『日治時代(1905-1945)臺灣近代都市計画史研究』(論文集)  
武沢 1992 『日本統治初期における台湾の市区改正に関する研究』  
一人名義として  
武沢 1991 『日本統治時代における台南都市骨格の歴史的研究』



▲2008年 マレーシア・ポトラジャヤでの1枚。太い道路で軸線が取られている。(写真は中島先生提供)

◀2000年 台湾での旅行に際して作成された「台湾の都市計画の歴史」資料。かなり研修色の強い旅行となった。この旅行の詳細は、都市デザイン研究室ホームページ「プロジェクト」>「過去のプロジェクト」より確認できる。(図は同HPより)



2010

中国  
南京

当時の留学生の出身校である東南大学建築学院との交流や南京市街地の見学を行なった。最終日には全員が南京の街について3分スピーチ。また、東大側から全プロジェクトについて英語での報告も行ない、双方の学生で熱い議論が交わされた。また、上海万博が開催中で、そちらまで足を伸ばした学生も多かった。上海万博で北欧のパビリオンを堪能したというから、短い期間に非常に世界が広がったことだろう。

2016

タイ  
バンコク

2006年以来10年ぶりの訪問。バンコクは研究室OBが多く活躍している地域であり、この年は**チュロンコン大学で教鞭をとるボンサン先生に案内していただいた**。チャオプラヤ川とその周辺の運河を水上バスで移動しながらまちなみを眺め、水都・バンコクを満喫した。ちなみに、前回のタイ旅行で結婚をお祝いしたニラモン先生のアーバンデザインセンターも訪れている。

## pick up! 海外での移動手段

大人数での海外旅行となると、気になるのが移動手段である。一風変わった手段で移動することも珍しくない。2004年のベトナムは、まだ自動車ではなくバイクが交通の中心だった。教員陣は現地出身のOGのスクーターの後ろに乗って、信号のない交差点をすりぬけるスリリングな移動をしたとか。2016年のバンコクでは、お祭りの大混雑に巻き込まれ身動きが

取れなくなっていた中、かろうじてタクシーを捕まえると、そのタクシーが人混みをフルスピードで飛ばし、ものの5分ほどで混雑を抜けホテルまで連れて行ってもらったという。また、鉄道好きの学生が幹事を務めた2018年の旅行では、超満員の長距離列車に乗って長春から瀋陽までの移動を体験したらしい。どれも海外でしかできない経験である。

2012

台湾  
台北

研究室旅行としては2000年以来、2度目の訪問。再び**丘先生にお世話になった**。丘先生の所属される台湾歴史資源経理学会の方々に台北市を案内していただき、WSや現地調査を行った。ちなみに、台風が直撃し悪天候に見舞われてしまったようである。雨ゆえに見られる都市の姿も魅力的だが、やはり晴れてほしい。今年は研究室メンバーに強力な晴れ女・晴れ男がいることを願いたい。

2014

中国  
上海・杭州

**OGで浙江大学の助教(当時)をされている傅舒蘭先生をたずねた**この年(ちなみに傅先生は2010年の旅行特集で記事を書いておられる)。中国美術家学院では西村先生が飛驒古川についての講義を行ったのだが、地面に座る学生がでるほどの超満員となった。

2018

中国  
長春・瀋陽

研究室旅行を始められた西村先生のご退職により、研究室旅行の存在が宙ぶらりんになっていたこの年。植民地都市計画に関心のあった学生が中心となり、**学生企画という形で、事前に輪読会を行ってから訪れた**。ちなみに、マガジンで現地の食べ物を特集しているのは今回調べた限りではこの年だけ。食事は旅の醍醐味のひとつ。今年の旅行でもぜひ記録したい。

2019

日本  
宇治・天理他

**宮城俊作教授の着任に伴い、2年に一回の海外研究室旅行とは違う形で、宇治を中心に近畿を回る旅行を行なった**。「例年よりも学部生や社会人学生、博士学生の参加が多く、総勢20名という大所帯での行動になった。普段はなかなか顔を合わせない人同士での交流の機会にもなったようである。」(マガジン vol.282)



▲ 2016年タイ・バンコクで水上バスより撮影。(写真は中島先生提供)

▶ 2018年中国・南京の旅行特集マガジン(vol.272)。「食い倒れ研究室旅行記」のコラムには、実際に食べた料理の「食レポ」が掲載されている。

## 【参考資料】

都市デザイン研究室マガジン vol.1, vol.38, vol.86, vol.133, vol.176, vol.222, vol.247, vol.272, vol.282

都市デザイン研究室ホームページ「台北市とその近郊のまちづくり」(http://ud.t.u-tokyo.ac.jp/projects/archives/p00/taipei/taipei.html)

## コラム 食い倒れ研究室旅行記

A great travel journal, pieces of the trip

中国料理といえば餃子に餃子料理。北京ダックに青島啤酒だと思われている皆さん、それはあくまで狭い中国料理の入口にすぎません。中国料理は地理的におおまかに四つに分けられ、例は一般に中国料理は四川料理を中心とした。あくまで地方の風味であると考えます。今回の目的地は福建、広東料理や湖南料理を有する北方系に属するため、他の地域とは風味や使用する食材、料理法は全く異なり、一般的には辛い・酸っぱいという特徴があるといわれています。日本における東洋店も店が濃く濃いとされているので、このように特徴があるという東洋店も知られていますが、残念ながらなかなか見つけられず、

さて長年しい前回は早々に終えて、宿もする「食い倒れ」といふものを、私どもとしてみてもとてつづるなというところで、筆者人生初の食レポの何かがやります!



## ロバ内蒸し餃子の長春

中国東部では一般的な食材とのこと、「上海餃子」や「天津餃子」とは異なる。餃子の皮は小麦粉で、肉は豚肉、鶏肉、牛肉、魚肉など。餃子の皮は小麦粉で、肉は豚肉、鶏肉、牛肉、魚肉など。餃子の皮は小麦粉で、肉は豚肉、鶏肉、牛肉、魚肉など。

餃子の皮は小麦粉で、肉は豚肉、鶏肉、牛肉、魚肉など。餃子の皮は小麦粉で、肉は豚肉、鶏肉、牛肉、魚肉など。

## 鶏菜粥排骨の瀋陽

大抵の白粥の料理(粥)が入った鍋に、肉で粥の味を調える。粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。

粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。

## 鶏菜粥排骨の瀋陽

大抵の白粥の料理(粥)が入った鍋に、肉で粥の味を調える。粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。

粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。

## 鶏菜粥排骨の瀋陽

大抵の白粥の料理(粥)が入った鍋に、肉で粥の味を調える。粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。

粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。

## 鶏菜粥排骨の瀋陽

大抵の白粥の料理(粥)が入った鍋に、肉で粥の味を調える。粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。

粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。

粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。

粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。

粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。

粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。粥は白粥、赤粥、黒粥など。

## 教員インタビュー

現在の研究室メンバーで数少ない旅行経験者である中島准教授・永野助教に、旅行の思い出や今年への期待などを伺った。

—参加された研究室旅行は

**中島** 2000年台湾、2002年北京・上海、2004年のベトナム、2006年のタイ、2008年のマレーシア、2016年のタイ、2019年の近畿。

**永野** 2010年の南京、2016年のタイ、2018年の長春、2019年の近畿。2年に1回だから、学生としては1回しか行けないからね。中島先生の参加回数が異常に多いだけで。

**中島** **西村先生に次いで2番目に研究室旅行に行っている**と思います。

—一番思い出深かったものはありますか

**中島** かなり記憶には残っていますが... どこももう1回行きたいですけどね。タイも10年くらいでもう1回行ってたり。都市はやっぱり変わるからね。

**永野** どういう観点で1番というかが難しい...。海外の方がやっぱり記憶には残りますね。**近畿の時に面白かったのは、みんなで運転したこと**。車3、4台で分かれて。あれは面白かった。海外じゃなかなかできないですからね。

**中島** 私はしなかったですけどね。三文字くん(当時D1)を専属運転手にしていました。最後に宮城先生の愛車が登場しましたね。確かに国内も国内で面白かったですね。

—研究室旅行への心構えはありますか

**永野** 難しいですね。真面目にいうとね、ちゃんと調べて、現地で学生同士語り合っど。一方でせつかく海外まで行って真面目に研修だけしてきましたというのもちょっとね。真面目すぎるのもよくない。現地の酒場で、ローカルな都市生活を浴びてとか。

**中島** **意外とポスト研究室旅行が大事かもしれない**ね。1回行った都市って、関心とか愛着が全然違うじゃないですか。行った後にさらに、その都市の本を読むなりすることで、知見はより定着するし発展しますよね。そういう機会もあると面白いわ。

**永野** そういう意味で言うと、満州に行った後に、満州の歴史に興味を持ってね、ラストエンペラーとか見ましたよ。向こうは「偽満州」って言うんですね。そういう資料館にみんなで見に行ったんです。歴史観とか変わっていきますよね。

—今年の研究室旅行に期待することは

**中島** 海外にいけるからね。どこかな。行った場所を地図に落としてみると、まだ行っていない場所が自ずと出てくるんじゃないでしょうか。

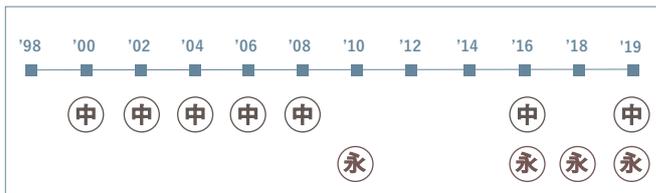
**永野** スリランカとかね。

**中島** 韓国とかもアリかもしれないですね。

**永野** 1回目以来の。

**中島** まさに見るべきところがたくさんあるからね。こう振り返ると、**韓国はだいぶ行っていない**もんね。

**永野** **25年、四半世紀ぶりか**。いいんじゃないかなあ。



先生方の参加された旅行



2002年、中国・万里の長城にて。写真中央に中島先生。(写真は中島先生提供)



2016年、中国・瀋陽にて。左から4番目に永野先生。(写真は永野先生提供)

歴史を知り、先生方の思いも聞けたところで、きっと旅行へのモチベーションが高まったことだろう。今年の研究室旅行の様子もマガジンで特集されるはず。乞うご期待！

## COLUMN

### POSTSCRIPT

一級建築士の試験問題を調べると、意外にも何回も出てくる事例が少ないことがわかった。ラドバーンや近隣住区論が繰り返し多く出題されている。そのような繰り返し出題される事例の中に丹下健三の東京計画1960が含まれる。我々が今プロジェクトで取り組んでいるものも、いずれ一級建築士の試験に出るような事例になるように努力したいと感じた。

6

月号担当  
M2 永井鷹一郎



### WEB MAGAZINE

#### 保存車両で活動報告会！



#富士吉田プロジェクト

下吉田駅にて活動展示会と住民意見交換会を開催しました。保存車両であるトーマスランド号をお借りして展示を行い、意見交換会では秋の社会実験に向けて白熱した議論が交わされました！(M1 小林)

続きはコチラ >>>

<https://ud.t.u-tokyo.ac.jp/ia/>



#### みなかみ地元住民説明会！



#みなかみプロジェクト

現在行っている提案の内容を住民の方々に説明させていただきました！説明会の後は、模型を囲んで意見交換。地元住民ならではの意見や、みなかみへの熱い思いを聞かせていただきました。(M1 元吉)

### BOOK OF THE MONTH



サハラに死す  
上瀬湯隆の一生

上瀬湯隆  
ヤマケイ文庫  
1975

1973年1月25日。21歳の上瀬湯隆は一頭のラクダを連れ、前人未到のサハラ砂漠7000kmの単独横断に挑戦するも、翌年消息を絶つてしまう。この本は、青春という人生の中で最も眩いその時期を、サハラ砂漠に捧げた男のダイジェストである。(M2 伊藤)